



東北大学

報 道 機 関 各 位

2014年2月5日
東北大学大学院生命科学研究科
生態適応センター

生態適応シンポジウム 2014
「東北のグリーン復興を流域から考える」 開催のご案内

<概要>

震災から3年が経とうとしており、防潮堤の問題など復興のあり方に関する議論も少しずつ変化しています。このたびのシンポジウムでは、東北地域の現実をふまえ、流域全体から復興を考えるという視点で今後のグリーン復興（生物多様性や生態系を考慮した復興）のあり方を考える機会をもちたいと思います。また、グリーン復興について、研究機関、行政と企業、市民団体をつなぎ、持続可能なまちづくりへの示唆となる討議をすすめていきたいと考えております。つきましては市民の皆様幅広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

主 催： 卓越した大学院拠点 東北大学生態適応環境機関コンソーシアム
日 時： 2014年2月18日(火) 13時30分～18時30分 (13:00開場)
場 所： ホテルモントレ仙台 (仙台市青葉区中央4-1-8 Tel:022-265-7110)
参 加 費： 無料
参加申込： 下記Webより申し込みください
(定員120名先着順、申込締切り2月7日(金))
<http://gema.biology.tohoku.ac.jp/center/symposium/sympo140218.html>
取材申込： 下記(お問い合わせ先)まで、電話またはメールにてご連絡ください

<プログラム>

13:30 開会挨拶 東北大学大学院生命科学研究科 教授 中静透

13:45 問題提起

「流域思考は震災復興・地域づくりに活かせるか」

慶應義塾大学 名誉教授 岸由二

「地形から見た災害復興の歴史的考察」

特定非営利法人 日本水フォーラム 事務局長 竹村公太郎

「森里海連環から見据える復興の展望」

公益財団法人 国際高等研究所・京都大学 名誉教授 田中克

「2011 東日本大震災に伴う自然生態系の再生と活用」

東北大学大学院生命科学研究科 教授 占部城太郎

15:45 ポスターセッション (コーヒーブレイク)

16:15 企業事例

「東日本大震災周辺域の杉を活用したエコファニチャー事業」

株式会社ワイス・ワイス 代表取締役社長 佐藤岳利

「企業と市民の新しい関係～トヨタアクアソーシャルフェス!に学ぶ」

一般社団法人 Think the Earth 理事/プロデューサー 上田壮一

17:00 登壇者によるパネルディスカッション

「東北のグリーン復興を流域から考える」

ファシリテーター 一般社団法人 CEPA ジャパン 代表 川廷昌弘

18:30 閉会挨拶 東北大学大学院生命科学研究科 教授 河田雅圭

18:40 懇親会 参加費 2,000 円/学生 1,000 円

同日午前中に環境機関コンソーシアムの報告会を同時開催いたします。

11:00-12:30 2013 年度活動報告と今後の展望

■海と田んぼからのグリーン復興

NPO 法人サステイナブル・ソリューションズ

一般社団法人 CEPA ジャパン 服部徹

■生物多様性オフセット研究会

いであ株式会社 国土環境研究所 研究員 幸福智

■JBIB いきもの共生事業所ガイドライン

株式会社インターリスク総研 主任研究員 原口真

■ミーシャ生物多様性アプリ

一般社団法人 Think the Earth 理事/プロデューサー 上田壮一

その他 討議事項

※プログラム (タイトル・講演者等) は一部変更になる場合がございます。ご了承ください。

後援：環境省東北地方環境事務所 復興庁宮城復興局 国土交通省東北地方整備局

(お問い合わせ先)

東北大学大学院生命科学研究科 生態適応センター

担当： 長嶋 寿江 (ながしま ひさえ)

電話： 022-795-3637

Eメール： eco-gcoe@bureau.tohoku.ac.jp